

お知らせ

N E W S

●診療科の取組案内2…皮膚科 ●Information1…公開講座のお知らせ ●Information2…「がん看護」研修のお知らせ

山形大学医学部附属病院の最新の医療を紹介する広報誌VOL.7が出来上がりました。これを機会に当院の医療を知っていただき、地域のリソースとして有効に活用していただければと思います。

診療科の取組案内 1 耳鼻咽喉・頭頸部外科

当科では、耳科、鼻科、頭頸部、音声など全ての領域において、これまで行われてきた治療よりも一歩進んだ「低侵襲で安全性が高く、悪性疾患でも機能温存を目指した手術」を行うための技術開発や医療器機の導入を行っております。良性悪性問わず、手術適応に迷うような症例は一度ご紹介いただければと存じます。

〈中耳疾患〉

慢性中耳炎や中耳真珠腫、耳硬化症に対し、低侵襲で死角が少なく安全性の高い聴力改善手術である「経外耳道的内視鏡下耳科手術TEES」を世界に先駆けて積極的に行っております。2017年は約180件のTEESを施行しました。



中耳真珠腫に対する経外耳道的内視鏡下耳科手術TEESの様子

〈人工内耳〉

山形大学は県内唯一の人工内耳認定施設です。2017年に成人人工内耳の適応基準が改定され、補聴器で音は聞こえても会話が聞き取れない方は手術適応となり、術後は音声での会話が可能となります。人工内耳手術により、患者・家族のQOL向上に努めています。

〈鼻副鼻腔〉

慢性副鼻腔炎、特に難病指定されている好酸球性副鼻腔炎に対し、内視鏡下にナビゲーションシステムを併用しながら安全かつ低侵襲に手術加療を行っています。また、アレルギー性鼻炎に対する手術加療やアレルギー免疫療法も数多く行っています。

〈顔面神経麻痺〉

高度麻痺例に対してステロイド大量療法を導入し、良好な治療成績を得ております。電気生理学的検査で重症と判断された場合には内視鏡手術を応用した低侵襲アプローチによる減荷術を施行し、更にリハビリテーションも指導することで治療成績向上に努めております。

〈音声〉

音声は生活上とても重要ですが、専門診療を行う施設は多くありません。当科では診断から治療までを一貫して行い、声帯麻痺の手術治療や音声リハビリ等の専門的な治療も行っております。

〈頭頸部腫瘍〉

頭頸部癌に対して再建手術を含めた手術、化学療法、放射線療法を最適に組み合わせた集学的治療を行っています。また、低侵襲な治療にも積極的に取り組んでおり、経口的内視鏡切除術は当院が県内で一番多く行っております。

当科では、皮膚悪性腫瘍、難治性および重症皮膚疾患などの治療を積極的に行っています。下記の疾患以外にも、日常診療で診断や治療に困った症例をご紹介いただければと思います。

〈皮膚悪性腫瘍〉

メラノーマ、基底細胞癌、SCCなどの比較的知られた疾患から、メルケル細胞癌、乳房外Paget病、血管肉腫といった稀な疾患まで、全ての皮膚悪性腫瘍の治療を行っています。特に、メラノーマの領域では、抗PD-1抗体などの免疫チェックポイント阻害薬、BRAF阻害薬などの分子標的薬を用いた治療も積極的に行っています。

〈水疱症〉

難治性水疱を生じる天疱瘡、類天疱瘡などの自己免疫性水疱症の方も多く診療しています。高齢の方で、全身にそう痒を伴った紅斑、水疱が多発してきた場合には水疱性類天疱瘡が疑われますし、最近ではDPP4阻害薬による類天疱瘡も多数経験しています。

〈重症薬疹〉

薬剤投与中に出現した皮疹は薬疹も鑑別にあがります。その中でもスティーブンス・ジョンソン症候群(SJS)、中毒性表皮壊死症(TEN)、薬剤性過敏症症候群(DIHS)などは重症型に分類され、専門的な治療が必要です。粘膜疹、皮膚剥離、全身症状がある場合には注意が必要です。



メラノーマの手術の様子

〈難治性皮膚疾患〉

尋常性乾癬の治療は、外用療法、光線療法などが主体となりますが、難治例に対しては生物学的製剤による治療も行っており、数十例の投与実績があります。アトピー性皮膚炎についても、本年4月より抗IL-4/13受容体抗体製剤が適応となりました。また、重症の早期の円形脱毛症症例に対するステロイドパルス療法も行っています。尋常性白斑に対する治療計画の予定も複数あり、近いうちに開始する予定です。

Information1

平成30年度
山形大学医学部公開講座のお知らせ

今、口腔ケアを学ぼう！
よりよいがん治療の
完遂を目指して

- 開催日時／平成30年11月11日(日)
13:00～16:00
- 受講対象者／医療従事者、医学生、及び
一般市民
- 受講料／4,000円(テキスト代を含みます)
- 場所／山形大学医学交流会館
- 募集人数／100名
- 受講の手続き／
 - 申込期間…平成30年10月26日(金)
 - 申込方法…後日HPでお知らせします
 - 問合せ先…山形大学飯田キャンパス
事務部総務課庶務担当
〒990-9585
山形市飯田西2-2-2
TEL.023-628-5006
FAX.023-628-5019

Information2

平成30年度

「がん看護」研修のお知らせ

山形大学医学部附属病院は、「がん拠点病院」として、様々な場面で患者支援をおこなうため、がん看護におけるEBP(evidence based practice:根拠)に基づく実践能力を高め、魅力ある看護の実践者を育成することを目的として、平成22年より「がん看護」研修を企画しています。今年度は、がん患者、家族の意向を尊重した看護ケアを実践するために必要な、がん患者に対するトータルケアの技術を学ぶプログラムになっております。受講生を広く募集いたしております。是非ご参加下さいませようご案内致します。

- 対象／医療従事者・看護学生・看護教員
- 研修期間／がん看護コース〈全6回〉平成30年6月～10月
- 研修日・内容／9月8日(土) 第4回「免疫関連有害事象の対応について」他
9月29日(土) 第5回「終末期における意思決定を支える。」他
10月27日(土) 第6回「QOL向上のための患者と家族のケア」他
- 申込締切／第4回 平成30年8月31日(金)
第5回 平成30年9月21日(金)
第6回 平成30年10月19日(金)
*第1～第3回は終了しています。
- お問い合わせ／看護部事務室 TEL.023-628-5857
- 受講料／無料

